

調査管理番号・案件名				
26a00561 アフリカ地域(広域)におけるスマートコリドー促進に係る情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式＝ランブサム型))				
質問と回答は以下のとおりです。				
2026/9/2				
質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	11	第3条調査実施の留意事項 (1)各国のスマートコリドー支援に資する包括的な情報収集上から3行目「3カ国における現地調査を通じて」	本業務の主管はマラウイ事務所と理解しており、プレ公示時点の業務内容は、マラウイにおける協力方針案の検討に重点がおかれていたと理解しましたが、今回は、ザンビア、モザンビーク、マラウイの3カ国に対して同等のレベルでの検討を期待されていますでしょうか。特に、これら3カ国すべてへの調査団メンバーによる現地渡航は必須要件でしょうか。あるいは、旅費の効率化等の観点から、オンラインでのヒアリング、机上調査、または現地再委託を活用した調査によって、一部の国への渡航を代替することは可能でしょうか。	・本調査はマラウイ事務所主管となりますが、当初よりナカラ回廊地域の3ヶ国を対象としておりましたので、対象国が明確となるよう名称変更したものです。 ・現地への渡航に関しては必須ではありませんが、延べ6回の渡航を想定しておりますため、1回目の渡航で、対象の3ヶ国を調査し、2回目の渡航でワークショップを開催していただくことでも構いません(渡航回数につき、対象複数国を巡回した際は1回と数えます)。 また、委託の中で現地情報収集を行うことは可能です。
2	11	第2条 調査の目的 (1)調査の目的 本調査は、モザンビーク・マラウイ・ザンビアに係るナカラ回廊地域のスマートコリドーに関連する事業のレビューと、調査対象地域におけるICT及びDX活用の現状、及び産業開発とそれに資する物流円滑化にフォーカスを当てた課題・ニーズ・開発ポテンシャルの情報整理及び分析をおこなったうえで、回廊開発アプローチ2.0の実現に向けたJICAの協力方針案及び具体的な案件形成を目的とする。	本調査で検討・形成される協力方針案や案件は、対象3カ国(モザンビーク、マラウイ、ザンビア)をそれぞれの政府関係機関に対して、個別に提案・説明(または合意形成)を行うことを想定されていますでしょうか。あるいは、プレ公示で示されたマラウイや、同国における回廊全体の多国間での調整・協議機関への提案を対象とした個別提案・説明(あるいは合意形成)を想定されていますでしょうか。	本調査では、対象国の政府機関等から情報収集を行うことを想定していますが、各国機関に対する個別説明及び合意形成までは想定しておりません。
3	12	第2条 調査の目的 (2)先方政府関係機関及び民間企業のニーズ把握 先方政府機関及び民間企業に対して、鉱物資源(シアース、ニオブ、リチウム、チタン等)および、農産物の輸出入手続きにおけるボトルネック・課題の特定、改善ニーズ・計画の有無について確認する。なお、民間企業においては、鉱物や農産品3の輸出入にあたり、海外投融資の可能性のある案件のリストアップ4を行う。	本ニーズ把握調査および民間企業の海外投融資候補案件のリストアップ業務は、対象3カ国(モザンビーク、マラウイ、ザンビア)のすべてにおいて均等に実施することを想定されていますでしょうか。あるいは、各国の関与度合いや開発ポテンシャルに基づき、調査団の判断により特定の国に重点を置いて調査を実施することで差し支えないでしょうか。	基本的にはマラウイを中心として調査を行っていただくことを想定しておりますが、ザンビア、モザンビークについても調査を妨げるものではありません。
4	14	「提案を求める内容2:ワークショップはマラウイでの開催を想定している。ナカラ回廊の物流促進に係る機関(運輸公共事業省、産業・ビジネス・貿易・観光省、農業・灌漑・水開発省、鉱山省、ナカラ回廊開発管理委員事務局、鉱物および農産物加工にかかる民間企業など)を対象に30～50名程度の参加者を想定している。C/Pがワークショップに参加するための旅費も見積書に計上してください。」	ワークショップの想定参加者(30～50名程度)のうち、見積書に旅費(航空費、日当・宿泊費等)を計上すべき対象者(ザンビア・モザンビーク等からの他国間移動が必要な参加者)の想定人数は、何名程度と見込めばよいのでしょうか。対象者数や出発国(国別の参加者内訳)によって積算額に大きな差が生じ、価格評価の公平性に影響を及ぼす可能性があると思われるため、積算にあたっての共通の前提条件や、想定人数・目安をご教示いただけますでしょうか(特に、日当の扱いは、各国政府機関が有する日当額を適用なのか、コンサルタント向けのガイドラインにて定められている日当と同額度よいかなど、具体的に記していただけますでしょうか)。	本調査では、マラウイ国内のカウンターパートを招集して、開催することを想定しております。 一方で、ザンビア、モザンビーク側の参加については、オンライン参加を妨げるものではありません。 ・日当/宿泊額は、当地ドナー間で共通基準額を設定していますので以下をご参照ください。公式レート1733.83/USD、ガソリン代は5619MKW/Lをご参考にしてください。 -Daily rate where accommodation and meals are required: 80,000MKW -Lunch rate: 11,000MKW (2026年8月27日にハイレベル会合で共有された最新レート) 【ワークショップ】以下の通り想定していますが、効果的なワークショップが想定される場合は、プロポーザルで提案してください。 会場借上費(半日): 会議用機材借上費一式: 日当:50名で計上してください。 参加者交通費:50名で計上してください。
5	14	「提案を求める内容2:ワークショップはマラウイでの開催を想定している。ナカラ回廊の物流促進に係る機関(運輸公共事業省、産業・ビジネス・貿易・観光省、農業・灌漑・水開発省、鉱山省、ナカラ回廊開発管理委員事務局、鉱物および農産物加工にかかる民間企業など)を対象に30～50名程度の参加者を想定している。C/Pがワークショップに参加するための旅費も見積書に計上してください。」	ワークショップの開催時期や目安となる実施日数(例:1日、あるいは2日間など)、また、ワークショップ実施に係る経費(会場借上費や同時通訳等の備上費)など、積算上の前提条件をご教示いただけますでしょうか。予定価格上限が示されていない中において、各社の提案に求める内容とするには、公平性の観点から重要と考えます。	質問4の回答をご確認ください。
6	14	「提案を求める内容2:ワークショップはマラウイでの開催を想定している。ナカラ回廊の物流促進に係る機関(運輸公共事業省、産業・ビジネス・貿易・観光省、農業・灌漑・水開発省、鉱山省、ナカラ回廊開発管理委員事務局、鉱物および農産物加工にかかる民間企業など)を対象に30～50名程度の参加者を想定している。C/Pがワークショップに参加するための旅費も見積書に計上してください。」	ワークショップにおける「関係者の意見を取りまとめる」との目的は、調査団が策定するロードマップ案(ドラフト)を現地関係者に共有したうえで、それに対する意見交換や合意形成を行う場という理解でよろしいでしょうか(その場合は、提示するロードマップ案の貴機構内での内容確認の手續きなどに係る調整時間を要するものでしょうか)。または、調査の早い段階における幅広い官民の意見を集める会と想定しておりますでしょうか。このワークショップの主旨を補足いただけますと幸いです。	今回のワークショップの主旨は、関係者間の意見交換を行い、机上調査及び現地調査を踏まえて策定されるロードマップ案の妥当性の確認及び意見を踏まえてロードマップ案の修正・最終化を行うものです。JICA内は、適宜実施される会議等を通して内容確認等を行います。
7	14	「提案を求める内容2:ワークショップはマラウイでの開催を想定している。ナカラ回廊の物流促進に係る機関(運輸公共事業省、産業・ビジネス・貿易・観光省、農業・灌漑・水開発省、鉱山省、ナカラ回廊開発管理委員事務局、鉱物および農産物加工にかかる民間企業など)を対象に30～50名程度の参加者を想定している。C/Pがワークショップに参加するための旅費も見積書に計上してください。」	ワークショップの会場は、現地政府関係機関の会議室等の無償(または有償)借上を想定されているでしょうか。あるいは、外部の民間会議室やホテル等の会場を独自に手配し、その借上費用を直接経費として見積書に計上すべきでしょうか。	質問4の回答をご確認ください。 借上費用につきましては、見積書に計上してください。
8	18	(2)業務量の目途 機構が想定する業務量の目途は次のとおりです。以下の数字は、機構が想定する目途ですので、競争参加者は、「第2章 特記仕様書」に示した業務に応じた業務量を算定してください。 (全体)4.84 人月 (現地渡航回数:延べ6回)	1回の渡航(日本出国から帰国まで)のカウントは、対象国(マラウイ、ザンビア、モザンビーク)の複数国を巡回して出張する場合は「1回」とカウントする理解でよろしいでしょうか。それとも、訪問する国ごとに1回(例:1渡航で3カ国訪問する場合は3回)とカウントする想定でしょうか。予定価格上限が示されていない中において、各社の提案に求める内容とするには、公平性の観点から重要と考えます。	質問1の回答をご参照ください。